

# 千葉県障害者福祉センター 利用情報ガイド

発行：千葉県障害者福祉センター  
〒260-0844 千葉市中央区千葉寺町1208-2  
電話：043-209-8779 FAX：043-209-8782  
<http://www.shafuku-chiba.jp/shogaifukushi.html>

千葉県障害者福祉センターは障害のある方に対し、生活や健康面での相談や専門スタッフによる機能訓練、各種事業を開催し、日常生活支援や社会参加の促進を行っています。

- 各種相談○機能訓練○福祉講座
- レクリエーション事業
- 社会適応訓練○住宅改造相談
- 福祉機器展示コーナー○施設貸出

## 4月の予定

1	月	市政だより/休館日
2	火	
3	水	医療相談(サス)
4	木	
5	金	民謡入門
6	土	
7	日	ハワイアンフラ/視覚相談
8	月	休館日
9	火	卓球入門
10	水	初めてのペン習字/水彩画
11	木	ボッチャ/コーラス/視覚相談
12	金	水中B/医療相談/PCの会
13	土	編み物B
14	日	鉛筆・色鉛筆デッサン
15	月	休館日
16	火	パソコンの会(入力)
17	水	書道A/ストレッチ体操
18	木	書道B
19	金	水中A/初めてのパソコン
20	土	アーチェリー/編み物A
21	日	
22	月	休館日
23	火	
24	水	ピラティス
25	木	スポーツ吹矢/バドミントン
26	金	医療相談/パソコンの会
27	土	水墨画
28	日	
29	月	休館日
30	火	休館日

※講座は開講日  
※医療相談10:00~16:00(予約優先)  
※視覚相談10:00~14:30(予約優先)

## 募集

### 囲碁・将棋・マージャンの会



- ◆日時 4月17日~来年3月18日の第3水曜日  
10時~11時半(全12回)
- ◆場所 作業訓練室
- ◆対象 千葉市在住在勤で身体障害者手帳をお持ちの18歳以上の方
- ◆定員 15名(先着順)
- ◆申込 電話、ファックス、メールまたは直接窓口にて

### 障害者ゴルフ教室



- ◆日時 5月17日~来年2月21日の第3金曜日  
10時~11時半(全9回)
- ◆場所 誉田ゴルフセンター(緑区誉田町1-56-1)
- ◆対象 千葉市在住在勤で身体障害者手帳をお持ちの18歳以上の方
- ◆定員 15名(先着順) ◆費用 貸ボール代実費
- ◆申込 電話、ファックス、メールまたは直接窓口にて

## 講座紹介

### 音楽療法・ハンドベル



#### 【講師紹介】

三瓶 あずさ(さんぺい あずさ)先生：左  
日本音楽療法学会認定音楽療法士

榮 あや(さかえ あや)先生：右  
日本音楽療法学会認定音楽療法士

#### 【講師より一言】

音楽の魅力は、言葉ではなく楽器や歌など音楽を通じて、一体感・共感を感じることにより、心と体がリフレッシュしたり、日々の生活から離れホッとしたり、スッキリすることができます。誰でもその日の体調や気持ちなど一定ではありません。音楽が寄り添うことで、言葉にならない思いが昇華し、心が動くことが音楽の魅力だと思います。歌や楽器で音楽を通じて「気持ちと一緒に」一体感や楽しさをぜひ体感してほしいです。

#### 【お問い合わせ・申込先】

〒260-0844 千葉市中央区千葉寺町1208-2 千葉県障害者福祉センター  
電話 209-8779 FAX209-8782 Eメール kizuna@mbj.nifty.com  
※月曜(祝日の場合は翌日)・祝日休館



情報

スポーツ義足ってどんなもの？ ～スポーツ用義肢装具の紹介～

◆義足の種類

切断レベルによって下肢義足・大腿義足・股義足などがあります。断端（切断部）を収納するソケットと切断レベルに応じて必要となるパーツを組み合わせて作成されます。

◆スポーツ義足

はじめに、これから紹介している「スポーツ用義肢・装具」については、障害者総合支援法などの公的制度を利用して作成することは出来ません。作成する場合は全額自己負担となります。



陸上用  
左が日常用下肢装具、右が疾走用下肢装具。



ボート用  
防水加工を義足に施している



水泳用  
レバーを引くだけでつま先が下を向く



スキー用・クロスカントリー用



自転車用  
ペダルと連結できるような特殊加工されている

義肢装具サポートセンターHPより

No. 21

今日の素敵ライフスタイル 義足のピッツァ職人 伊藤直淑さん（47歳） 私的活動と夢に向かって



いとう なおとし  
伊藤 直淑さん（47歳）

【プロフィール】

イタリアンシェフをしていました。H25.2.10仕事が忙しく、一週間で10時間寝たかどうかの激務の中、帰宅中バイクで電柱にぶつかる事故で、右大腿骨開放骨折、右膝粉碎骨折、右下肢切断となりました。

【義足ができるまで】 なかなか大腿骨（太ももの骨）がくっつかなかったので義足を作ることができませんでした。リハビリをしながら骨がつくのを待っているとき、車いすバスケに誘われたのがセンターに来るようになったきっかけです。その間は、バスケばかりしてましたね。2年半後、もうそろそろ義足を作れそうということでリハセンターに半年くらい入院し、義足の調整とリハビリをしました。一歩歩いて「痛い」。切断した膝にかかる体重になれていなかったんです。私は、幻肢もなく痛みもなくラッキーでした。痛みがないので制作、調整は順調にできました。義足を作るときは、きちんと義肢装具士に相談したほうがいいなあと思いました。

【車いすと義足】 車いすに乗ってスーパーなどで買い物をしていると、チラチラ見られるわけですよ。見る視線の先はやっぱり足のない部分です。あんまり気持ちのいいものではないですよ。気持ちが弱い人なら外に出なくなるだろうと思いましたよ。要は見慣れればいい！そう思って私の勝手な活動で義足をあえて見せてるんです。障害者に慣れて欲しいですね。

【夢への第一歩】 義足が完成すると近くのイタリアンでバイトをしながら、物件探し等開業に向けて準備を始めました。H30.5 四街道にBosco（ボスコ）をオープン。スタートラインだと思っています。今後は皆さんに喜ばれるピッツァを作り続けたいです！

編集担当Wの独り言

編集とは無縁の職種で「利用情報ガイド」を書いてきました。センターに転入して6年、お便りを担当して4年がたちました。実は、お便りを担当しながら広報誌の研修に行ったのですが、そこで「編集後記を書く」とよいですね」と助言されてきたのが、この「Wの独り言」なのです。私の考えを制作裏話的に書かなくていいのか不安だったので、編集

後記コーナーを作るのにとても勇気がいりました。ですが、お便りを通じ、たくさんの方の学び、素敵な方々と出会わせてもらえて幸せ者だと思っています。私の突撃取材に快く応じてくださった皆様、毎回読んでくださった皆様、誤字脱字多発原稿を校正してくれた職員の皆、ありがとうございました。Wの最終回でした(〇)/

皆様からのご意見・ご要望をお待ちしています